

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和3年度分 】

施設名	荒神谷博物館・荒神谷史跡公園	施設所管課	文化財課
指定管理者	特定非営利活動法人 出雲学研究所	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	<p>【優れていると評価した点】</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中であったが、施設の消毒の徹底等ガイドラインに基づき、感染拡大防止に努めながら、企画展・特別展のほか、さまざまな講座やイベントなどの自主企画事業を行っていた。広大な敷地・建物を適切に管理し、古代ハスの管理や古代米の栽培等、地元の協力も得て、地域と一体となった運営を行っている。</p>
	<p>【改善すべき点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により厳しい集客状況が続くが、感染症拡大防止に努めながら、各種集客イベントの実施や広報・PRにより、さらなる集客に努めてもらいたい。また、若い学芸員の育成と、展示の充実に努めて欲しい。</p>
指定管理者	<p>【優れていると評価した点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない状況下ではあるが、施設内の消毒の継続等感染拡大防止に取り組み、来館者の安全確保に努めた。イベントも感染対策を講じ従来の実施方法を見直し、中止するのではなく開催できる工夫をした。</p>
	<p>【改善すべき点】</p> <p>3年度は国、県等からの行動制限が発せられる状況において、特別展、企画展の開催期間も含め来場者がこれまでに比べて大きく減少し、収入の確保にも大きな影響があった。特に、県外からの来館が減少する中、近場からの来館、来園者を確保するためのPR、特に当施設の魅力を発信する取り組みが重要である。運営費が潤沢でないことから、パブリシティを活用した広報活動を積極的に取りいれていく。</p>

2. 施設利用について

総括	<p>コロナ禍においての来館者、来園者確保のため、県内をはじめ中国地方など近隣の小中学校・高校の、教育・学習の場として活用を進める。アンケートからの改善策の拾い上げや関係施設との連携より企画展示の充実を図り、効果的な広報活動を推進するとともに、施設の機能を高める自主事業で誘客に努める。</p>
----	---

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

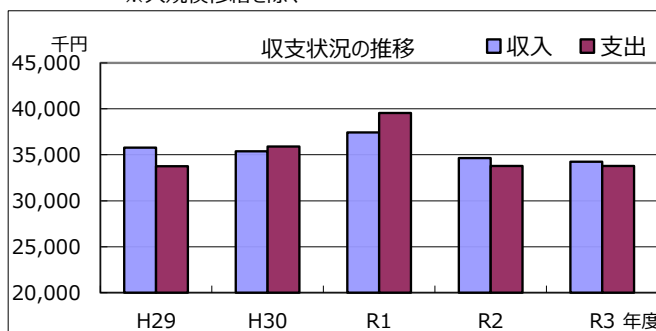
施設	項目	H29	H30	R1	R2	R3
施設の収支	収入	35,773	35,386	37,421	34,632	34,235
	うち指定管理料	28,412	28,605	29,088	29,933	30,350
	うち利用料	2,088	2,065	2,766	1,266	1,336
	その他	5,273	4,716	5,567	3,433	2,549
	支出	33,754	35,910	39,540	33,794	33,780
	差引	2,019	△ 524	△ 2,119	838	455

<上記以外の市の収入、支出>

（単位：千円）

市の収支	項目	H29	H30	R1	R2	R3
収入	収入（使用料）	604	489	545	276	334
	支出	3,167	1,290	3,266	5,534	2,742
	うち修繕費	2,715	685	2,373	2,345	2,230

※大規模修繕を除く



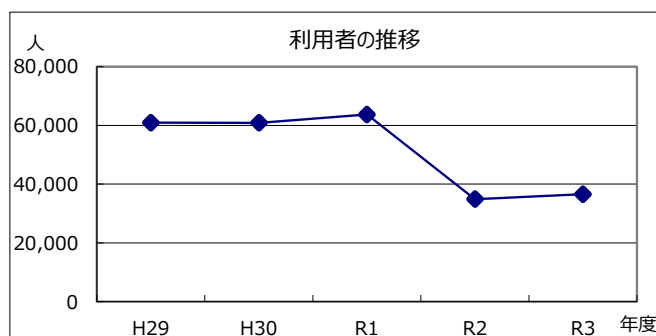
収入増・コスト削減に関する取り組み

- ・パブリシティの活用による広告宣伝に取り組み、効果的な広報活動に努め、来館・来園者の拡大を図る。
- ・施設の清掃、修繕を直営で実施したり、清掃ボランティアを受け入れ外部委託の回数を減らした。
- ・施設の修繕が多くなり、修繕コストが高んでおり、施設全体の計画的な維持補修が重要である。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用者	H29	H30	R1	R2	R3
	60,907	60,850	63,721	34,866	36,569



利用者の増に向けた取り組み・利用の動向

- ・ホームページやフェイスブックなどを利用して情報発信を行い、PRに努める。
- ・コロナ禍において開催ができていない大人数であったり、飲食を伴うイベントが開催できる手法を検討したい。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

通年の来客アンケートに加え、企画展の展示内容も含めたアンケートを実施した。アンケート回収数は通年アンケートが59件で、回答内容は「施設・設備」「スタッフ対応」「展示」の3項目。不満の回答は少数であった。自由意見も好意的なものが多かった。また企画展アンケートは129件であった。企画展のアンケート結果は今後の展示に活かせるよう活用していく。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見	
170 件	①非常に良い	135 件 76.3 %	①展示の説明が分かりやすかった。②また見学したい。③長く博物館を守って欲しい。④子供向けのクイズコーナーを設けて欲しい。⑤引き出し方式の展示方法が面白い。⑥発掘再現映像が面白かった。
	②良い	27 件 15.3 %	
	③ふつう	件 %	
	④悪い	1 件 0.6 %	
	⑤非常に悪い	7 件 4.0 %	

(4) 住民サービス向上の取り組み・事例

本年度も古代ハスの栽培に影響をあたえるザリガニの駆除を、親子連れを中心とする来園者に釣り場を提供し楽しんでいただくとともに、外来種の問題についても学んでもらう機会を提供した。コロナ禍においても従来に近い利用者数がある公園利用の利便を図るため、芝刈の回数を増やし良好な環境を維持した。

3. 自主事業について

総括	歴史博物館としての学術的・文化的な講演会や講座を中心とし、また、他方で、荒神谷ならではの子ども向けの古代体験イベント等を感染対策を講じて開催し、多数の来園者を迎え楽しんでもらった。しかし、芸能や食に関わるイベントは開催を見送った。講演会は定員を40人、風土記談義は会員制で午前午後2回の講座とし、参加者の分散を図って開催した。
実況	・ホール展示(9回)・講演会(11回実施 毎月1回)・風土記談義(11回実施、毎月1回)・荒神谷古代子どもフェスタ(5/4~5)・赤米田植え体験(5/16)・赤米稲刈り体験(10/24)・荒神谷ハスマつり(中止)関連イベント:荒神谷古代ハスを知ろう7/4・荒神谷月見の宴(中止)・古代もちつき会(中止)・「ひかわ銅剣の日」記念イベント7/11・「なんでもアート&ぬり絵」10/30・クリスマスリース作り12/5

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・危機管理マニュアルによる緊急時を想定したシミュレーション訓練を実施した。
- ・施設や設備の老朽化が進行しており修繕の必要な箇所が多くあるが、予算に限りがあるため、安全を最優先に順位付けを行い対応した。

5. 職員(従業員等)の接遇・研修について

- ・職員の接遇は内部で都度都度の指導により能力の向上を図っている。